

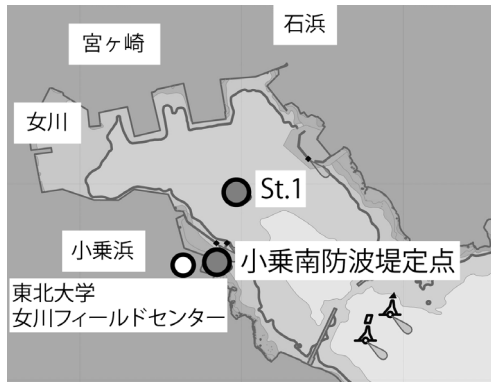
## 週刊 女川湾海況速報 (No.17)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11月5日から9日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

## 観測点



## 小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降傾向。鉛直的にはほぼ一様。海面冷却とともに鉛直混合の影響と推定。塩分は先週と同程度の値。経時的には6日に全層で下降。降雨の影響と推定。

水深 [m]	11月5日 (月)	11月6日 (火)	11月7日 (水)	11月8日 (木)	11月9日 (金)
0	17.3 (33.5)	17.0 (31.7)	17.4 (33.1)	17.5 (33.6)	17.3 (33.6)
6	17.3 (33.5)	17.2 (33.2)	17.6 (33.5)	17.5 (33.6)	17.3 (33.6)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル（千分率）。1パーミル = 1PSU（実用塩分単位）。

②濁度：先週と比較して、下降傾向。経時的には9日に全層で上昇、底層（6m）近くで特に高い値。

水深 [m]	11月5日 (月)	11月6日 (火)	11月7日 (水)	11月8日 (木)	11月9日 (金)
0	1.7	0.6	1.8	1.5	2.8
6	2.8	2.2	1.7	2.5	5.1

（単位は FTU）

③溶存酸素：先週と比較して、上昇傾向。6～7mg/l 台を維持。経時的には6日に全層で上昇したあと、徐々に下降。

水深 [m]	11月5日 (月)	11月6日 (火)	11月7日 (水)	11月8日 (木)	11月9日 (金)
0	7.1	7.8	7.6	6.9	7.0
6	7.0	7.6	7.3	6.8	6.9

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

## St.1 の結果

水温、塩分はともに水深 5m 以浅で水深とともに上昇傾向、それ以深ではほぼ一様。濁度は 1.1～2.4FTU、鉛直的には水深とともに上昇傾向。溶存酸素は 7.0～7.5mg/l。鉛直的には水深とともに下降傾向、底層（20m）で最小。

11月7日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	17.3	32.8	1.1	7.5
5	17.5	33.4	1.2	7.5
10	17.6	33.6	1.2	7.4
15	17.5	33.6	1.7	7.1
20	17.6	33.6	2.4	7.0

本データの利用については、  
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。